

# 地域学校協働研修会

日時：令和2年8月5日（水） 9：50～16：00  
場所：たまかわ文化体育館 参加者：38名

## 講義（10：00～10：50）

「特別な支援を要する幼児児童生徒の見立てと支援」

講師：福島県教育庁県中教育事務所 学校教育課

指導主事 大河内章行

参加者のニーズに応える講義内容で、参加者が真剣に聴講する姿が多く充実した講義でした。個性化が進む子どもたちの現状から、特別な支援を要する子どもたちの理解と支援の在り方について具体的な事例を取り上げて説明しました。私たち支援者が子どもたちの障がい区分や特徴を把握することで、きめ細やかな支援を行うことができ、子どもたちの学習や生活に大きな影響を与えることを学びました。



講義を行う大河内章行指導主事

## 情報交換（11：40～12：10）

### 1 学校との連携と学校支援ボランティア活動の状況

（学校支援者及び学校関係者対象）

学校支援活動の具体的な取組の成果と課題について情報交換を行いました。学校と地域の連携や事業継続させるためのボランティアの人材確保、行政への関わりなどの話題が挙げられました。



熱心に情報交換を行う参加者

### 2 放課後子ども教室・児童クラブの運営や安全管理

（放課後子ども教室及び児童クラブ関係者対象）

安全管理及び事故防止の具体的な取組について情報交換を行いました。児童の多様性に伴い、支援の仕方等に難しさがあることやスタッフの確保について課題が挙げられました。



情報交換の内容を報告する代表者

## 講話（13：00～13：30）

「今だからこそ、大切にしたい体験活動の充実

～ムシテックワールドの事業より～」

講師：ムシテックワールド 指導主事 笹島 明美 氏

小学校学習指導要領と学校教育法の法的根拠に基づき、体験活動の充実について説明していただきました。また、本県の主要施策「頑張る学校応援プラン」の具体的な取組や地域の方々との交流活動や体験活動について説明がありました。

体験活動が健やかな人間形成と豊かな心の育成に大変重要なことであることを講話していただきました。

最後にムシテックワールドの事業と出前講座の実施についての紹介がありました。



体験活動の重要性について講話を行う笹島明美氏

## 演 習 (13:45~15:30)

### 「子どもの好奇心を呼び起こす工作教室」

講師：ムシテックワールド 指導主事 廣瀬 和行 氏

演習に入る前に、工作活動の意義と注意すべき点について説明がありました。子どもたちに工作活動を楽しませるためには、用具や材料の取扱いに十分注意させ安全面の配慮に十分心がけること、落ち着いた環境をつくることが大切であることの説明がありました。また、子ども同士で教え合ったり、一緒に取組んだりすることも重要な活動であることも説明していただきました。

今回は、「でかたんぼ」「チビトンボ」「ゾートロープ」の3つの工作を行いました。参加者の方々も童心に夢中になって活動していました。



演習内容について説明する廣瀬和行氏



熱心に工作に取り組む参加者